

市民環境部長の仕事宣言！

市民環境部長 橋本有功

1 基本姿勢（部の運営方針）

現在、本市は、人口が増え続け、外国人住民も増加している状況の中、様々な行政課題や地域課題が存在しています。市民環境部が所管している施策や業務の課題の主なものとしては、地域の仕組みの変化や個人の考え方の多様化、住民の流動化による地域住民相互の関わり合いの希薄化への対応のためのまちづくり推進協議会の更なる充実、ごみ減量やリサイクルなど資源循環型社会への対応と環境問題への意識の向上、市民生活に身近な犯罪の増加への対応、高齢化の進展や生活困窮者の増加等による国民健康保険事業適正化への対応、男女平等意識や多文化共生意識等の人権意識に対する理解と認識の向上などが挙げられます。

これらの課題の解決には、粘り強く対応すべきもの、市民の皆様と一緒に取り組むもの、市全体で考えていくもの、時間を要するものなど、対応方法や取り組む内容も異なることから、一つひとつの課題に対して、真摯に丁寧に向き合って取り組んでいく必要があります。

市民一人ひとりが、地域の一員として、地域全体で協力し合い、助け合いながら、お互いが快適な生活を送り、また、子どもからお年寄りまでのすべての世代や外国人などの住民みんなが、いきいきと生きがいを持って、安心して暮らしていくために、市民環境部が抱える様々な行政課題や地域課題への対応に取り組んでまいります。

2 重点事業の概要（リープロ11）

●リープロ11の名称〔3 みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト〕

地域活動の拠点である「まちづくり推進センター」を中心に、地域住民が地域活動や市民活動に積極的に参加し、また、地域全体で地域の問題解決に取り組んでいます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・まちづくり活動に関する情報の共有を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・市民の声を広く聴く機会の充実を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・地域自治組織の構築を図ります。〔市民協働推進課〕
- ・市民協働のまちづくりを進めます。〔市民協働推進課〕
- ・情報化推進計画を進めます。〔情報管理課〕

●リープロ11の名称〔7 環境を守り、未来へつなぐプロジェクト〕

市民は、自然を大切にしながら、“もったいない”という気持ちで、限りある資源を活かして、地球にやさしい生活を営んでいます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・環境保全活動を進めます。〔環境対策課〕
- ・自然環境保全活動を進めます。〔環境対策課〕
- ・地球温暖化対策を進めます。〔環境対策課〕
- ・ごみの減量化とリサイクルを進めます。〔環境対策課〕
- ・循環型社会への意識改革を進めます。〔環境対策課〕

●リープロ11の名称〔10 自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト〕

男女共同参画意識が浸透し、性別にかかわらず、一人ひとりの違いを認め合い、お互いの個性を尊重した人々が自分らしく生き生きと暮らしています。また、地域の人々と外国人が触れ合う機会が増え、異なる文化・価値観への相互理解が深まっています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・男女共同参画意識を育てます。〔市民協働推進課〕
- ・豊かで多様な生き方を支える取組を進めます。〔市民協働推進課〕
- ・男女がともに歩むまちづくりの取組を進めます。〔市民協働推進課〕
- ・多文化共生のまちづくりを進めます。〔市民協働推進課〕
- ・国際性を育む地域づくりを進めます。〔市民協働推進課〕

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ 11）

●リープロ 11 の名称〔3 みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト〕

- ・まちづくり推進センター運営事業
- ・まちづくり推進協議会運営支援
- ・市民活動支援事業：市民活動センター運営事業による市民活動の推進
：市民活動支援補助

○指標

- ・とす市民活動センター利用者数 15,000人（平成27年度）
- ・市民活動ガイドブック登録団体数 100団体（平成27年度）

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

- ・本年度、弥生が丘地区に「まちづくり推進センター」が完成したことから、市内8地区すべての校区に「まちづくり推進センター」が設置されました。このセンターを地域交流の拠点として、更なる利活用促進を図るとともに、センター事業の活性化を図ります。また、利用者が安心して快適に利用できるように、施設の維持管理に努めます。
- ・市民活動支援事業として、市民活動団体が自主的、主体的に行う公益的な事業を支援し、市民活動の活性化及び自立化を促進します。
- ・市民相互や市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の育成・支援を行う市民活動センターの運営を支援します。
- ・市民のボランティアによる道路の環境美化活動を推進するため、道路里親の新たな担い手拡充に努め、市民協働のまちづくりへの市民意識の向上を図ります。
- ・昨年、決定された道路愛称の3路線について、道路への愛着と市内案内の利便性の向上のために、更なる利活用に取り組んでいきます。

●リープロ 11 の名称〔7 環境を守り、未来へつなぐプロジェクト〕

- ・次期ごみ処理施設建設事業
- ・衛生処理場し尿処理施設管理運営業務
- ・環境保全活動
- ・地球温暖化対策

○指標

- ・環境美化活動参加者数 1,800人（平成27年度）
- ・市民一人1日あたりの資源物以外のごみ排出量 800g/人・日（平成27年度）

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

- ・次期ごみ処理施設については、鳥栖市での設置を踏まえ、昨年、候補地用地選定を行い、真木町衛生処理場跡地を候補地として選定したところです。今後、課題等の整理検討を行いながら、地元の皆様の理解・合意に向けて精力的に協議を進めていきます。
- ・下水道普及によるし尿処理量の減少、施設老朽化への対応等のための衛生処理場し尿処理施設管理運営業務全般の運営方法等の対応について検討を進めていきます。
- ・環境保全意識向上及び地球温暖化対策のため、市民・事業所が自主的に、率先して行うための環境教育・講座、新エネルギー普及啓発事業を進めていきます。

●リープロ11の名称〔10 自分らしく、暮らし生き生きプロジェクト〕

- ・男女共同参画啓発事業
- ・多文化共生推進事業
- ・友好都市交流事業

○指標

- ・審議会・委員会等における女性委員の比率 40%（平成27年度）
- ・語学ボランティア登録者数 25人（平成27年度）

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

- ・男女共同参画の理解を深めるため、市民や職員を対象とした政策セミナーや講座・講演会を開催します。
- ・各課との連携を深めることで、各課が進める男女共同参画関連事業の成果、課題について整理することにより、新たな取り組み方法や内容の検討を行います。
- ・市内の国際交流支援団体や語学ボランティア等との話し合いの場を設け、市と協働による異文化交流や行政資料の翻訳などの事業を実施します。
- ・本年度は、本市の友好都市であるドイツ国ツァイツ市への「こども交流事業」として、学生10名を16日間派遣して両市の友好関係を深めます。また、日独修好150周年記念企画展示が長崎市で開催されますので、ツァイツ市と合同で参加するとともに、これに合わせて来日するツァイツ市長を公式訪問団として受け入れ、更なる友好を図っていきます。